

● 移住交流支援センターだより ●

NPO法人
グリーンバレーの
伊藤・林が
お届けします。



お問合せ
☎676-1177
IP: 2028

空き家情報を募集しています

賃貸、売買を希望する町内の空き家・空き地情報を募集しています。近年は町外からの移住希望者だけでなく、町内在住者で空き家への住みかえを検討する方、新築する空き地を探している方からの相談も増えています。

センターでは空き家の紹介に加え、お家に残った荷物の片付けや相続登記などの相談にも応じております。空き家を持つているけど管理にお困りのご親族やご近所さんをご存知でしたら、「移住交流支援センターに相談してみたら？」と一言お声をかけをお願いします。

空き家から出るモノを再利用 「モノストック」オープンデー

3/21(日) 9時~12時
4/20(火) 9時~12時
神領青井夫・旧国道沿い

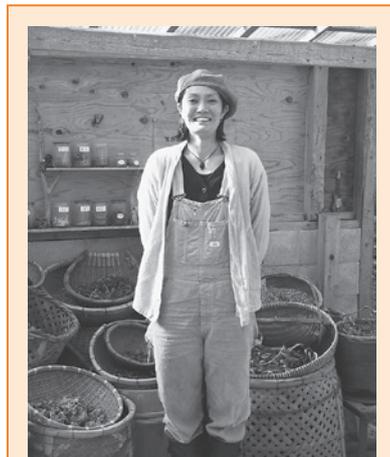


今月のインタビュー

2018年に引越してきた目黒さんをご紹介します。目黒さんは農業法人「ファーム神山」でアルバイトをしつつ、草木染め工房「染昌(そめしよこ)」の瀧本さんのもとで修行をしています。

〈移住のきっかけ〉

移住する1年ほど前に、藍染や染(すくも)作りを学んでみたいと思って、徳島に下見で旅行にきました。旅の途中、神山で草木染めをしている瀧本さんのことを偶然知って、すぐさま連絡をしました。工房での染め体験だけでなく、染をつくる藍師のお師匠さんも紹介してもらえ、その時に徳島で修行する決心ができました。



めぐる みく 秋田県出身
目黒 未紅
下分安吉在住

お金を貯めるため1度秋田に帰り、徳島の藍染め関連の求人に応募してみたりしましたが、結果は不採用。修行はあまくない、覚悟を決めようと思って、車に荷物を積んで神山まで来てしまいました。働かせてくださいと瀧本さんにお願ひし、タイミングよくアルバイト先と住居も紹介してもらえ、神山での暮らしが始まりました。染昌で修行したいと思ったのは、染めのことだけでなく、山での暮らしを瀧本さんが楽しそうに話していたのが、印象的だったからでした。

〈染めの修行について〉

染昌では、樹皮をはいだり、果実の皮を集めたりといった季節ごとの染料の下準備、生地のアIRONがけや仕立てなどの染色前の作業を手伝っています。今年から染料の煮出しや、藍の畑の管理を一部任せてもらえるようになっていました。空いた時間には好きなものを染めさせてもらっているの、修行と言いつつも楽しく作業しています。もともと母から教えても

らった編み物が好きで、休みの日や仕事終わりの夜に、自分が使う小物や服を作っています。「自分で染めて作ったものを身に着ける」を、今年のテーマにしています。

〈ファーム神山について〉

週3日はファーム神山でアルバイトをしていて、市内の市場やスーパーに商品を配達しています。実は社長の佐々木さんが染料づくりにも協力してくれて、二ホンアカネを実験的に栽培してくれました。根から赤色の染料がとれる日本在来の茜ですが、全国的に栽培できた事例は少ないそう、さすが農業のプロだなと感動しました。



染料になる二ホンアカネの根

〈今後の抱負〉

今年から任せてもらえることになった畑で、立派な藍を育て、染を作りたいです。夏場の作業が大変なのですが、自分が一番やってみたいことができるので、やっぱりうれしいですね。

新規移住相談件数
12月: 16件
1月: 12件

